



第6次犬山市総合計画 が完成しました

【第6次犬山市総合計画って何?】

第6次犬山市総合計画は、令和5年度から計画期間8年間の犬山のこれからの方向性や道しるべを示した犬山市の最上位計画です。その中で、将来、犬山市をどのようなまちにしていくのか…そのためには誰(市民みなさんや事業者、行政)が…どんなことをしていくか…をまとめたものです。

【犬山市の現状は?】

市の人口が7万5千人から7万3千人へと減少し、これから85歳以上の高齢者の数が増え、高齢化率が高くなります。また、1年間に誕生する赤ちゃんの数も400人を割り、子どもや子育て世代が少

ないことなど、向き合っていかなければならないことが多くあります。

【でも、犬山には成長する潜在力と可能性がある】

多くの歴史的・自然的地域資源に恵まれています。国道41号の6車線化が令和5年度に犬山まで完了します。また、名古屋駅から近く、鉄道駅が7駅もあること。さらには、犬山が大好きな人材にも恵まれ、求心力のあるまちだからです。

【そこで目標を立てました】

犬山の強みをいかした犬山にしかできない、犬山だからできるまちづくりを進めるため、①「誰もが育ち、楽しみ、活躍できるまちへ」、②「産業が栄えるまちへ」、③「人にも地球にもやさしいまちへ」の3つを基本目標に、市民みなさんが真ん中にいていただきたいとの想いで、目指す姿を定めました。

また、定住人口の増加に向けた「住むところ」、雇用の増進とな

る「働くところ」、地域経済の活性化のための「にぎわうところ」、自然を「守るところ・活かすところ」の犬山のグラウンドデザインを定めて、ずっと犬山に住みたい・これから犬山に住みたいと思ってもらえる持続可能な犬山づくりを創出していきます。

【これからの犬山づくり】

想いと心を込めた第6次犬山市総合計画が完成しました。これからは、この計画に魂を入れて、市民みなさんと「思い」を「形」に変えていかなければなりません。お示しをした犬山の将来目標と施策を確実に前に進めます。過去と他のまちは変えることはできませんが、未来とわたしたちのまち犬山は変えることができます。「やさしく」「げんきな」犬山の未来に向かうため、犬山づくりにご一緒下さい。

「来るまち犬山から、住みたいまち犬山へ…前に進めます」